

藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。



「長野」 故津田 芳郎氏 撮影(市川市写真連盟)

「これからの藝文協に思うこと」

市川市芸術文化団体協議会
会長 白倉 道代



平成26年は、市川市制80周年そして藝文協は創立40周年という大きな節目の年でした。戦後の荒廃した市民の心に芸術文化を通して潤いと希望を寄与することを目的としてつくられたときいております。

初代会長は(故)藤野天光先生(市川美術会)、二代目会長(故)村上正治先生(市川交響楽団協会)そして、三代目内田一孝先生(市川市花道協会)という歴代の会長・会員の皆様の努力により、地域社会の発展と市民文化の普及と向上に大きな役割をはたしてきたのだと思います。私たちもこのように先人たちが残してくれた道標をしっかりと受けとめ、この心を次の世代につないでいきたいと思います。それと同時に、この節目の年にあたって、今後の藝文協のあり方を会員皆で考えたいと思います。

今までの藝文協の良き伝統は残し、新しい時代に沿った芸術文化を築き、大きく前進したいと考えます。



ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長
市川市長 大久保 博



平成26年度「藝文いちかわ」が発行されますことを心からお祝い申し上げます。

白倉会長をはじめ市川市芸術文化団体協議会の皆様におかれましては、昭和49年の設立以来、長きにわたり、本市の芸術文化の普及と発展に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市では、「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」を基本目標の一つに掲げておりますが、貴協議会におかれましては、市内各種の芸術文化団体の相互協力と理解を深める様々な文化活動を担っていただいております。改めて深く感謝申し上げます。

来年2月11日には、本市との共催により、市川市芸術祭・文化祭「第21回芸術文化集会」が市川市文化会館小ホールにて開催されます。

貴協議会の皆様の幅広い人脈と芸術文化に造けい深い企画は、ご来場の皆様を満足させる素晴らしい集いになるものと期待しております。

結びに、市川市芸術文化団体協議会の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

芸術協創立40周年

第20回文化集會を

振り返って

文化集會に招かれて

鎌ヶ谷市芸術文化協会 会長 平栗 三男

私はこれまで市川市で行われま
す、文化フォーラム等に何度もおま
ねきに預かりお邪魔させて頂いて参
りました。

この度、市川市芸術文化団体創立
40周年記念、又、第20回市川市芸術
文化集會、そして、市川市市制施行
80周年、市川市芸術文化団体設立の
礎と、県の芸術文化協会に多大な
貢献をなされた、故村上正治先生の
生誕100年と、周年記念が幾つも重なる
大変お目出度い席にご招待頂き有
難うございました。文化集會の当日
は、前日からの大雪に見舞われ、開
催も危ぶまれる状況でしたが、白倉
会長はじめ、役員の皆様、関係各位
の皆様におかれましては大変なご苦
労だったかと思えます。

私は鎌ヶ谷です。東部野田線
から船橋で総武線に乗り換え市川市
の文化会館に行くのですが、電車の
本数は通常よりかなり少なく、無事
に着けるか少し心配もありました。
それでも、何としても行かせて頂き
たいとの思いがありました。それには、
会長の白倉先生には県の会議や、
私どもの鎌ヶ谷市にも何度も来て頂

いて、大変お世話になってい
るからであります。

会場に着きますと関係者の方が
丁寧にお迎えくださり、悪天候の
中を良く来て下さったと労って下
さいました。そして直ぐにお茶席
に案内して頂きました。お茶席に
着きますと、学生服を着た子供た
ちが居り、男の子、女の子と代わ
る代わる、お茶とお菓子を出して
くれました。まだごこちない様子
で、その仕草が何とも微笑ましく、
嬉しく心が和みました。

ホールに入りますと、習志野市
と船橋市の芸術協の会長さん方が
お見えになっておしく暫く談笑に花
を咲かせました。舞台では定刻通
り始まり、式典、基調講演、演奏
公演と、どれも素晴らしい舞台で
した。感じましたことは、色々な
場面で子供さんたちの出番が有り
ました。このことは、次世代を担
う子供たちを大事に育んでいかな
ければと、先輩諸氏の思いが伝
わってきた、素晴らしい取り組み
だなと思えました。私も良き事を
学ばせて頂き地元を持ち帰り、今
後の活動に生かしていきたいと強
く思わせて頂きました。

芸術文化で歴史有る市川市にお
招き頂いて、有意義な時間を持た
せて頂いた事に感謝申し上げます。今
後とも、近隣都市として有効を深
めさせて頂きたいと思えます。

文化集會に招かれて

習志野市芸術文化協会 副会長 伊藤 俊雄

この度、御市の芸術文化集會第
二十回記念大会並びに芸術文化団体
協議会 創立四十周年というおめ
でたい記念行事にお招きいただき
まして、誠に有難うございました。

当日はあいにく大雪となりまし
たが、会場は市川市文化会館には
多勢のご来客で賑々しく、私共一
同、心から楽しませて頂きました。

特に御市の芸術文化に対する意
気込みは格別で、昭和四十九年芸術
文化団体協議会を創立以来、四十
年に亘り市民文化振興に腐心され、
特に三十年前に第一回市川市芸術
文化集會を開催されて以来、芸術
文化に関するテーマのもと基調講
演とシンポジウムを重ね、市民
の意見交換を重視して、其々異な
つた活動を展開する部門をまとめる
ことに重きを置いてこられたとの
事、これはまさに白倉会長をはじめ
実行委員会の皆様のセンスの賜
物であると感動いたしました。

市川市芸術文化の生みの親と
も云うべき村上正治先生の生誕
100年と「芸術協の現在、過去、
未来」をテーマに能村研三先生の
基調講演は、千葉県全体にとつて
の宝でもあり、確りとお聞きしま
した。

また、展示、演奏、公演のい
ずれの発表も素晴らしく、参考にす
るところ大でありました。
私共、習志野市芸術文化協会も

設立二十周年記念式典を市制施行
六十周年の冠のもと、去る四月に挙
行する事が出来ました。今後とも会
の発展の為、一層の努力を重ねてま
いりたいと存じますので、更に倍旧
のご指導ご鞭撻をお願い申し上げま
す。



白倉会長の挨拶



文化集會に参加して

市川市洋舞踊協会 会長 荒木 洋子

今回は、第2部の舞台公演で、グリーグ作曲、村上正治編曲「旅情組曲」より

①メロディー(作品38-3)クラシックバレエ②スケルツォ(作品54-5)モダンバレエ③小人の行進(作品54-3)モダンバレエ④ゆりかごで(作品68-5)クラシックバレエの4曲を振付し発表致しました。

出演した皆さんは、市川交響楽団によるオーケストラの演奏で踊るといふ貴重な経験をさせていただきました。

また邦楽、オペラ、合唱の方々の公演という多彩な舞台が実現し感動いたしました。ただ大雪のため大勢の方に観ていただけなかったことが非常に残念でした。

これからも市川市芸術文化団体協議会員のそれぞれの分野の力を結集した催しを実現できたら素晴らしいことだと思ひ、そのことを願っております。



舞台公演の一部

文化集會に参加して

市川市写真連盟 理事 佐久間 英治

平成26年2月8日(土)は近來まれに見る35mmの大雪に見舞われた一日でした。

私ども写真連盟も2階ホワイエの壁面の全面に芸文協加盟各団体の活動状況を写真で紹介する、という意図で市川オペラを軸として、バレエ、手工芸、三曲、民話の写真を行徳カメラクラブの重光理事と大判で23枚用意しました。

湯浅さんにお願ひして市・文化振興課から、キャスター付きボードをお借りして準備万端整えていましたら、天気予報は大雪ということで前日に写真等は会場倉庫に持ち込みを済ませました。当日は予報通り明け方から大雪、長靴を履き、リュックを背負って、登山の装具で文化会館にたどり着きました。幸い、文化振興課近藤さん始め写真連盟の理事の方々の応援により、展示は予定通り完了。当日参加された各会の多くの皆様にご覧になっていただけたので写真連盟の存在を認識していただけたと、ホッといたしました。

私自身芸術文化集會に参加したのは初めてですので、ホールで催された、三曲、バレエ、オペラ、大合唱には感銘を受け、さすがに文化都市・市川の芸文協だと改めて感心した次第です。大雪のため一般の方々の来訪が少なくてちよつと残念でしたが、四十周年記念芸術文化集會としては大きな成果を挙げられたと思っております。

最後にこの春天国に逝かれた大先輩津田芳郎前写真連盟会長のご冥福をお祈りしながら、芸文協における写真連盟の使命を全うしたいと心から誓う次第です。



当日展示の一部

文化集會に参加して

市川市花道協会 野口 春和

市川市花道協会は小ホール右側壇上に「迎花(むかえばな)」を出品しました。

シダレヤナギを中心に配して、新春の慶びを表現し、ユリ、ストレチアなど華やかに、立体的になるよう工夫しました。閉会後は来館者に花を配布し、喜びを分かち合いました。

文化集會で内部と外部へ力を

市川民話の会 根岸 英之

芸術文化集會は、一九九二年の全日本文化集會の成功を受けて、芸文協の加盟団体相互の理解を深め、地域の芸術文化の向上を目的に、一九九四年から始まりました。

第一回の内容を見ると、各文化団体の現状と課題について出し合うとともに、埼玉県文化団体連合会会長の講演が行われました。

二回目以降は、シンポジウムのほか、芸能公演や作品展示が行われるようになり、途中、市川市文化振興課に置かれていた事務局が独立、芸文協のあり方にも大きな変化がありました。二〇〇〇年代は、シンポジウムと大ホールを使った舞台公演を隔年で行うなど、充実した規模を誇っていたように感じます。

現在は当初に近い形で、工夫された内容になっていますが、やはり発会の原点を忘れず、団体相互の理解を深めることを第一に、多くの団体の活動の分かる集會を重ね、外部にも芸文協の役割を知ってもらい、市川市の芸術文化の底力を高め、その未来を切り拓く提的的な会であることを願っています。団体の現状の課題を共有し合うしかけも必要かと考えます。





能村研三氏の基調講演



市川三曲会の演奏



市川オペラ振興会と市響のコラボ



市響の演奏

芸術文化集会の歩み

回数	開催日	テーマ	会場
第1回	平成6年2/6	各団体の現状と課題について	文化会館大会議室
第2回	平成7年2/26	生涯学習と文化団体の果たす役割	"
第3回	平成8年3/3	芸能公演・美術会員展	小ホール展示室
第4回	平成10年2/11	みんなで創ろう心と文化(21世紀にむけて)	文化会館大会議室
第5回	平成11年2/13	みんなで創ろう心と文化(21世紀にむけて)	小ホール・展示室
第6回	平成12年4/15	舞台公演・会員作品展	文化会館大会議室
第7回	平成13年3/25	みんなで創ろう心と文化(21世紀にむけて)	大ホール・展示室
第8回	平成14年3/16	地域から文化芸術発信 市川に活力みなぎる 市川消防	文化会館小ホール
第9回	平成15年2/15	市川回遊展	市川消防局
第10回	平成16年3/28	新世紀へ翔け市民文化	市川小学校その他
第11回	平成17年	手児奈フェスティバル	文化会館大会議室
第12回	平成18年1/28	学校教育と文化団体の連携をどう進めるか	文化会館大会議室
第13回	平成19年2/17	市川の文化人展(地域文化に灯した二人)	文化会館大会議室
第14回	平成20年2/16	藤野天光彫刻展	文化会館展示室
第15回	平成21年2/11	村上正治記念コンサート	文化会館大ホール
第16回	平成22年2/11	芸文協30周年記念 舞台公演荷風	文化会館大ホール
第17回	平成23年2/11	30周年記念 これからの芸文協のあり方	市川グランドホテル
第18回	平成24年2/11	失われつつある美しき日本の言葉と文化	文化会館大会議室
第19回	平成25年2/11	次の世代に伝えたい日本の心	文化会館大会議室
第20回	平成26年2/8	あなたにとっての芸術文化(生き方)を探してみませんか	文化会館大会議室
		芸文祭り	文化会館大ホールほか
		—未来につなぐ芸術文化—	
第16回	平成22年2/11	生きることと芸術文化のかかわり	
第17回	平成23年2/11	「市川に息づく文化—市制75年の歩みをとおして」	文化会館大会議室
第18回	平成24年2/11	市川の国際交流と芸術・文化	
第19回	平成25年2/11	「いしかわの国際交流における芸術・文化の翼を広げよ	
第20回	平成26年2/8	大震災一年後の今	
		「生きるを支える芸術文化のちから」	文化会館大会議室
		和と輪を紡ぐ 芸文協の現在、過去、未来	文化会館大会議室
		「芸術文化で人との交流をとおして」	
		村上正治先生、生誕100年と	文化会館小ホール
		芸文協の現在・過去・未来	

お知らせ

第21回芸術文化集会

平成27年2月11日(水・祝)

12時開場(ロビー展示) 13時開会

市川市文化会館大会議室(B1F)

基調講演

「“再発見”市川の芸術文化」
～人と文化をむすぶ～

講師：根岸英之氏

(市川市文化振興課、
文学ミュージアム、
市川民話の会会員)

「演奏・公演・展示」

も行います。

市川市市制施行80周年を記念して、
新しいシンボルマークが決まりました。
お目にかかる機会も多いかと思えます。

ヴィジュアルコンセプト


市川の「市」「川」、そして「1」「川」をシンボライズしました。
3本の線は、市川市の基本構想の3つの基本理念である「人間尊重」
「自然との共生」「協働による創造」を表現しています。未来への発展、
豊かさ、安心で快適な街の創造をカタチに込めました。




2015 市川市芸術文化団体協議会 主催

第21回芸術文化集会

平成27年2月11日(水・祝)
12時開場(ロビー展示)
13時開会
市川市文化会館大会議室(B1F)




テーマ
「“再発見”市川の芸術文化」
～人と文化をむすぶ～



市川市文化振興課(文学ミュージアム)
市川民話の会会員

講師 根岸英之氏



<基調講演>

<演奏・公演・展示>

<演奏・公演>

- 市川市合唱連盟
- 千葉マスターズオーケストラ
- 市川市バレエ連盟
- 古事記に親しむ会

<ロビー展示>

- 市川市花道協会
- 市川市手工芸連盟
- 市川市写真連盟
- 茶道狭霧会

主催：市川市芸術文化団体協議会

共催：市川市・(公財)市川市文化振興財団

後援：市川市教育委員会

問い合わせ：事務局 湯浅 047-337-7175

市川市芸術文化団体協議会加盟団体

- 市川市花道協会
- 市川市交響楽団協会
- 市川民話の会
- 市川市合唱連盟
- 市川市洋舞踊協会
- 市川オペラ振興会
- 市川市手工芸連盟
- 市川市写真連盟
- あずさ企画
- 日本アートギャラリー
- 茶道狭霧会
- 市川市バレエ連盟
- 市川三曲会
- 古事記に親しむ会

入場無料

訃報
心よりお悔み申し上げます

長年、市川市の芸術文化振興、並びに芸文協の活動にご尽力を頂いてまいりました、近藤明子さん(市川市合唱連盟)、津田芳郎さん(市川市写真連盟)が逝去されました。

心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。



市川市市制施行80周年表彰
おめでとうございます

去る11月3日、市川市市制施行80周年の記念式典が市川市文化会館大ホールで開催され、芸文協の加盟団体の中から多く表彰されました。

表彰を受けられた個人、団体は以下の方々です。おめでとうございます。

市川市芸術文化団体協議会会長 白倉道代

市川市芸術文化団体協議会

市川市花道協会

市川市交響楽団協会

市川民話の会

市川市合唱連盟

市川市洋舞踊協会

市川オペラ振興会

市川市手工芸連盟

市川市写真連盟

(敬称略)

市川市市民会館と市響

市川交響楽団 理事長 時田 雄

昭和26年(1951)に創設者村上正治先生が提唱し、初代市川市長の浮谷竹次郎先生、市川市在住の文化人や企業家を発起人として地域音楽文化向上を目的とした市川交響楽団協会が発足しました。

初期の演奏会は真間小、和洋女子大などの講堂、音楽室をお借りして行っていました。昭和34年(1959)に待望の市民会館が落成して村上先生はこのホールを最大限に活用した演奏会を数多く開催します。

市響の演奏記録に初めて市民会館が出てくるのは昭和34年(1959)11月3日市川市制25周年祝賀演奏会とあります。オーケストラとしてのこけら落としがこの演奏会だったようです。

それから55年間にわたり市響はこの市民会館とともに市民オーケストラ活動を続けていきます。

客席が半分しか埋まらない演奏会もあれば、深沢亮子さん、宮沢明子さん(ピアノ)、林リリ子さん(フルート)、勝田聡一さん、堤剛さん(チェロ)、前橋汀子さん、漆原啓子さん、漆原朝子さん(ヴァイオリン)などの著名ソリストとの協演もあり、ベートトヴィエンの「第九」では客席も舞台も超満員の演奏会を経験します。

昭和60年(1985)11月に市川市文化会館が落成してからは定期演奏会の拠点は文化会館に移りますが、その後も市民会館は小規模演奏会や練習会場として私達を迎え入れてくれました。

東日本大震災(2011.3.11)の翌日、3月12日には多くの余震が気になりながらもこの市民会館でいつもの練習をしました。まさか天井崩落の恐れで使用出来なくなるとは……

平成28年9月には新しい市民会館が八幡神社境内の右側、いつもの場所にも現れる事と思います。市響の多くの思い出がこもった場所です。新たな文化拠点が発信できるよう次世代へのお願いと致します。



サイ・イエングアンさん

真間小児童と一緒に歌う
あずさ企画代表 本多安仁(筆名北峰 聖)

①十月二十五日真間小学校創立八十周年記念行事で、サイさんが五年生と一緒に「真間の手児奈」を歌うことが決まり、十月七日真間小体育館にて音合わせをしたら、お互いに綺麗な声で思いのほか良く合っていました。驚きました。

②十月五日、日経ホールにてサイさんが初めて「夕焼小焼」を歌うことを知って私が幼い頃体験した情景をイメージして歌って貰えたらと思いい「夕焼小焼」の里にお連れしました。

作詞した中村雨紅さんが三男として生まれた宮尾神社が小高い山の上にあり境内に歌碑があります。神社前に着いたサイさんは山の清い空気に酔ったのでしょうか、「鎮守の森」が「大ホール」に見えたのでしょうか両手を広げて自然と大きな声で「夕焼小焼」を歌いだしたのです。こんなアカペラの自然の中のリサイタルは初めてで、山全体が振動しているように感じた。得難い光景に痺れました。

バス研修旅行をおえて

市川市バレエ連盟 中島 利代子

十月一日、小雨まじりの天候でしたが道路渋滞もなく予定より早く野田に着き、はじめに宮内庁のしよ油醸造所である御用蔵の見学、続いてキッチンマンの物知りしよ油館へ。

係の方の説明を受けスムーズに醸造工程を見学出来ました。世界中で使われていたしよ油の力、素晴らしさを再確認出来ました。

昼食は割烹柴乃にて野田芸文協の

市川市芸術文化団体協議会参加団体

- | | |
|----------|---------------|
| 市川市花道協会 | 市川市写真連盟 |
| 市川交響楽団協会 | 市川市バレエ連盟 |
| 市川三曲会 | あずさ企画 |
| 市川民話の会 | 日本アートギャラリー |
| 市川市合唱連盟 | 茶道狭霧会 |
| 市川市洋舞踊協会 | 千葉マスターズオーケストラ |
| 市川オペラ振興会 | 古事記に親しむ会 |
| 市川市手工芸連盟 | |

発行 市川市芸術文化団体協議会 編集 市川市合唱連盟 市川市バレエ連盟
事務局 〒272-0805 市川市大野町3-1766 湯浅方
HP <http://www.geibun.org>

編集後記

芸文協が40周年を迎え、記念すべき第20回芸術文化集が無事終わりました。当日はあいにくの天候となりましたが、芸文協の仲間たちがしっかりと記念すべき文化集をつくりあげました。

41年目の一歩を踏み出した芸文協が、市川市の芸術文化の伝統を受け継ぎながら、新しい道を進めるように頑張っていきたいと思いつつ、編集後記を書いていきます。

(酒井)

方々が加わって下さり、和やかに話し交流を深めることが出来ました。

次の上花輪歴史資料館は江戸時代にしよう油醸造を稼業としていた高梨家の居宅、庭園、その他収集物を展示されており館長、副館長様が丁寧に説明して下さいゆつくりと見学することができ、有意義な一日になったのだと思います。